

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/5 /20

Albirex-RT

スーパーFJ 富士シリーズ 第 2 戦

太田選手 3位表彰台獲得！！



5月20日(日) 予選・決勝 1LAP=4.563km 決勝：12LAPS

天候：曇 コース：ドライ 出走：15台

気温：20℃ 湿度：26% 路温：35℃

ドライバー：深村 匠 (アルビ RTGIA ミスト ED・KKS #34)

神村悠太 (アルビ RTGIA ビヨンド ED・KKS #35)

太田達也 (アルビ RT 玉三郎 ED 岩本商会 #36)

予選結果：太田選手 4位 神村選手 9位 深村選手 10位

決勝結果：太田選手 3位 (表彰台獲得) 神村選手 8位 深村選手 9位

No.36 太田選手が悲願の表彰台へ

■5月20日（日） 予選

9時20分予選開始。今回はもてぎシリーズに出場中の太田選手もエントリー。

太田選手は金曜、土曜の練習走行から若干セッティングを変更し、予選に望む。

予選開始と同時に、アルビレックス・レーシング・チームは太田選手を筆頭に次々にコースイン。それぞれトラブルもなく、順調にタイムを刻んでゆく。富士でのレースは初となる太田選手は6周目にベストラップをマーク。結果、トップから約1秒差で4番手を獲得。富士スピードウェイでの練習走行は、ここ半月以内の計4日間と少ない走行時間ながら、3番手とは0.210秒差という僅差のタイムとなり、決勝での初の表彰台獲得が現実味を帯びてきた。

深村選手・神村選手はそれぞれ9番手、10番手ポジションを獲得し、第1戦以上の結果を目指す。

■5月20日（日） 決勝

14時10分決勝開始。4番手から表彰台を狙う太田選手が絶妙なスタートを決める。予選2番手、3番手がスタートミスにより失速しかけたが、大きな混乱もなく太田選手は1コーナーで1台パスして早々と3番手に浮上する。

オープニングラップは1~4位までが同間隔で周回。その後4~6位が少し離されてポジション争いが始まり、3番手を走る太田選手を含む上位3台が若干抜けた状態に。2周目以降になると太田選手のペースがどんどん上がっていき、2位の選手を追い詰めていくが、6周目に太田選手がシフトミス。2位の選手に若干離されてしまい、その間に4位争いをしてきた1台が太田選手に肉薄していく。

9周目以降、太田選手もスピードを取り戻して4位の選手を引き放しにかかり、そのまま見事3位でチェッカー。アルビレックス・レーシング・チームとしてスーパーFJシリーズ参戦後、初の表彰台を獲得した。

一方、神村・深村選手は8・9番手でお互い順位を入れ替えながら周回。上位1台がリタイヤとなったため、それぞれ予選より1つポジションを上げてフィニッシュとなった。

○深村選手コメント

前回の予選では新品タイヤを使うことができなかったため、早めにタイヤを温めて、タイヤをうまく使うことを意識しました。その結果、自己ベストを出すことができました。

決勝では、いまだに集団での走行に慣れていなく、自分のペースで走ることができなくて予選タイムより大幅にタイムを落としてしまいました。

○神村選手コメント

今回のレースで自分の課題がたくさん再発見できました。ひとつひとつ課題をクリアできるように努力します。

○太田選手コメント

富士シリーズ初挑戦にして 3 位という結果は非常に嬉しいです。表彰台獲得ということで、チームにも貢献できてよかったです。チームの皆さんと応援していただいた皆様ありがとうございます。翌週ももてぎのレースなので、もてぎでも表彰台を狙います。

○中村監督コメント

ようやく表彰台を取ることができました。太田選手に関してはすべての歯車が噛み合い始めたレースウィークでした。次戦以降も選手が表彰台に上れるよう努力致します。神村・深村両選手については、双方ともコンマ 5 秒足りず、練習を続けて参ります。今後も良い成績が上げられるよう応援の程よろしくお願い致します。







P PLUS  Nankai Plan Co., Ltd.

鈴木会計
増玉・川口
<http://www.tcnf.com/eds>

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

